

氏名	岡 崎 悟		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 1735 号		
学位授与の日付	昭和62年 3月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学位論文題目	高脂肪食および高砂糖食のラット耐糖能、インスリン反応および インスリン感受性におよぼす影響		
論文審査委員	教授 太田善介	教授 木村郁郎	教授 産賀敏彦

### 学位論文内容の要旨

食生活の近代化と糖尿病増加との関係を実験的に解明するため、ラットを用い、在来の日本食をモデルとした低脂肪・無砂糖食（C群）、現代の西欧食をモデルとした高脂肪・高砂糖食（FS群）、および低脂肪・高砂糖食（CS群）、高脂肪・無砂糖食（F群）の各飼料で8週間飼育後、ブドウ糖負荷試験およびインスリン負荷試験を行った。

その結果、FS群ではC群に比し体重の増加、耐糖能の低下がみられ、一方血中インスリンは高値を示し、インスリン負荷時の感受性低下がみとめられた。このことから、高脂肪・高砂糖食はインスリン抵抗性を招来し、糖尿病発症の促進因子になると考えられた。

また、CS群およびF群でもC群に比し耐糖能低下、高インスリン血症がみられたが、インスリン負荷時の感受性はCS群でC群に比し有意の低下がみられ、F群はC群と差がなかった。したがって、高脂肪食または高砂糖食単独でもインスリン抵抗性が招来されるが、その機序は異なることが推定された。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は食生活の近代化と糖尿病増加との関係を実験的に解明するため、ラットを用い、在来の日本食をモデルとした低脂肪・無砂糖食、現代の西欧食をモデルとした高脂肪・高砂糖食、および低脂肪・高砂糖食、高脂肪・無砂糖食の各飼料で8週間飼育後、ブドウ糖負荷試験およびインスリン負荷試験を行ったもので、その結果、高脂肪・高砂糖食はインスリン抵抗性を招来し、高脂肪食または高砂糖食単独でもインスリン抵抗性が招来されることを明らかにした価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。